

平成29年度 第2回 三種町総合教育会議議事録

- 1 開催日時 平成30年 2月20日（火）午後3時00分
- 2 開催場所 琴丘地域拠点センター 小会議室
- 3 出席者 三種町長 三浦 正隆
三種町教育委員会 委員長 堀田 キミ子
委 員 嶋田 博光
委 員 水野 京子
教育長 鎌田 義人
- 4 欠席者 佐々木 孝一
- 5 事務局 総務課 課長 腰丸 豊 課長補佐 清水 真
教育次長 畠山 広栄 次長補佐 櫻庭 真弓
次長補佐 後藤 誠 係長 成田 直広
- 6 傍聴者 1名
- 7 内 容 次のとおり

午後3時00分開会

畠山教育次長 おつかれさまです。本日はお忙しい中、会議にご出席下さいます。ありがとうございます。

それでは、平成29年度第2回三種町総合教育会議を開催させていただきます。始めに、町長よりご挨拶をお願いいたします。

三浦町長 皆さんこんにちは。だいぶお天気も緩んできました。2月19日は、「雨水」でした。お天気も雪から雨に変わり農作業を始める季節になってきたということです。少しずつ春を感じる時期になってきました。10月の総合教育会議では、「学校事務の共同実施について」、「平成30年度の新年度予算について」説明が行われました。理解も深まり大変良かったと思っております。

さて、2月17日にスポーツ文化栄誉賞受与式が行われました。54個人11団体250名の関係者の方々が出席されまし

た。山本中学校軟式野球部の秋田県中学校秋季軟式野球大会優勝、山本中学校女子バスケットボール部の秋田県中学校総合体育大会バスケットボール大会・秋季バスケットボール大会優勝、森岳小学校女子秋田県ミニバスケットボール交歓大会優勝、琴丘小学校ソフトボール大会優勝、秋田県綱引き選手権大会小学生ジュニア女子の部優勝等素晴らしい成績を修めました。高校生の活躍も素晴らしいことでした。

これからは、新しい教育委員会制度が始まります。本町は、教育長の任期などもありますが、これからの教育委員会制度に向けて準備を進めて頂ければと思っております。「公共施設整備・人材育成」などの提言もありますが、世の中の流れに添うように配慮して行きたいと思っております。

三種町で自慢が出来ることがあります。それは、公共施設整備のトイレの改修であります。洋式・ウォシュレットに整備したことです。自分の幼少期には、学校のトイレが怖くて行くことが出来ませんでした。トイレの整備につきましては、きちんと整備してまいります。今日は、限られた時間ではありますが教育大綱改正（案）についてご協議いただきまして、開会の挨拶といたします。教育委員の皆様よろしくお願いいたします。

畠山教育次長 ありがとうございました。続きまして、教育委員長よりご挨拶をお願いします。

堀田委員長 皆さんこんにちは。少しずつ暖かい春を感じる季節になりました。町長さんにおかれましては、ご多用にも係わらずご出席頂きましてありがとうございます。2月17日行われましたスポーツ文化栄誉賞授与式では、スポーツ部門・文化部門等ありますが、私が授与式で係わりました文化栄誉賞を受賞されました、山本中学校三年生男子の「わか杉チャレンジフェスティバル数学」中学生の部では満点金メダルを授与されました。今までの文化部門では、音楽か感想文等でしたが素晴らしいことだと思います。数学では専門員の配置をして頂いたおかげだと思っております。学校の財政予算では、ご配慮頂きましてありがとうございました。子ども達は、元気しております。どうぞ、ご安心して頂ければと思っています。そして、また中学生の活

発な授業を観ることも出来まして大変良かったと思っております。

先日、琴丘パレスを会場に「三種町連合婦人会研修会」が行われました。その際、トイレの改修がまだ整備されておらず大変困っているというご婦人の方々からのお話がありました。整備改修にはお金がかかることだとは思いますが、よろしくご配慮いただければと思います。本日は、よろしくお願いいたします。

畠山教育次長 ありがとうございました。それでは、以後の議事進行につきまして、町長にお願いします。

三浦町長 はい。次第の4に入ります。議事録署名委員の指名でございますが、嶋田博光委員にお願いします。

嶋田委員 はい。

三浦町長 それでは協議事項に入ります。

(1) 三種町教育大綱(案)について。それでは、資料について事務局より説明をお願いします。

櫻庭次長補佐 (資料を基に説明)

第1章 教育大綱の策定にあたって

1. 大綱策定の趣旨

平成27年4月に施行された「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律」により、各地方公共団体の長は、教育基本法に基づき策定される国の「教育振興基本計画」における基本的な方針を参酌し、その地域の実情に応じた教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱を定めるものとされました。

三種町においては、平成28年3月に「三種町教育大綱」を策定し、本町のめざすべき教育の将来像の実現に取り組んできたところですが、現行の「三種町教育大綱」の実施期間が平成29年度末をもって終了することから、近年の社会情勢の変化や教育を取り巻く社会の動向等も踏まえ、本町の実情に応じた教育、学術及び文化の振興に関する施策の総合的かつ効果的な推進を図るため、「第2期三種町教育大綱」(以下「大綱」という。)を策定するものです。

2. 大綱の位置づけと計画期間

(1) 大綱の位置づけ

この大綱は、三種町の教育行政を推進するための基本指針となることから、町の計画や施策との整合性が保たれる必要があります。第2次三種町総合計画の基本構想に定める基本目標の達成に向け、本町の教育がめざす基本的な方向や今後推進すべき施策を明らかにします。

(2) 大綱の計画期間

この大綱は、第2次三種町総合計画の前期基本計画に基づき事業を展開していくことから、その周期を合わせるため、平成30年度から平成33年度の4年間とします。

また、大綱は、本町を取り巻く社会経済情勢やニーズの変化や国の制度改正などがあった場合には総合教育会議において協議を行い、必要に応じて適宜見直しを行います。

3. 三種町のめざす教育

第2次三種町総合計画の基本構想では、『創造性豊かな文化ときらめく人を育むまち』を教育分野におけるまちづくりの基本目標に掲げました。

高齢化や国際化、情報化の進展など変化が激しい時代を生き抜くためには、これまでの単に知識を増やすだけの教育は役に立ちません。子どもたち一人一人が、社会の変化に柔軟に対応し、他者と協力しつつ自律的に社会生活を送る力をつけることが必要不可欠です。

また、生きがいを実感しながら人生を心豊かに送りたいという町民の意識も強まり、生涯学習やスポーツ・文化活動への関心も高まっています。

本町では、子どもたちが、身近な地域の中で大人に支えられ、見守られ、様々な経験を通して成長していくとともに、子どもから大人まで全ての住民が、共に学び成長し続けられるよう、「創造性豊かな文化づくり」と「新たな時代を切り拓くきらめく人づくり」をめざし、教育施策を推進して参ります。

三浦町長 大変わかりやすくまとめて頂きました。嶋田委員どうでしょうか。

嶋田委員 はい。大変良くまとめていると思います。前回の教育大綱も素晴らしいものでしたが、今回も良くまとまっていると思います。

三浦町長 感想でもご意見でいいです。教育長いかがですか。

鎌田教育長 はい。町の総合基本計画が変わるということの位置付けに併せて教育大綱が代わるということなので、それに併せていかないと思うので良いことだと思います。学校教育・社会教育いろんな分野が入っているので良いと思いました。

基本目標 4 青少年の健全育成の青少年に有害な環境の浄化。「情報をモラル」都会だけの話ではなく、いつ・どこでネットトラブルに巻き込まれていくかわからないので、町を挙げて子ども達を育てていく環境を整えていかないといけないということだと思います。その部分も入っているので、大変良いと思いました。

基本目標 7 国際理解の促進と国際交流の推進についてですが、平成30年度に向けて小学校の外国語教科化授業が入ってきます。3人のALTの活用など、国際理解・国際交流を進めていかないといけないと思うので非常に良いと思いました。国際理解・国際交流をさらに進めていかないといけないと感じました。

水野委員 はい。良くまとまっていると思います。三種町のめざす創造性・文化をベースとして教育がなされというところなど私は、良いと思いました。時代に合わせて代えていくということは、素晴らしいことだと思います。地域力の低下とか家族力の低下などの深刻さ、地域社会のセーフティネットの中で子ども達をきちんと育てていくという方向性が見えて来ると良いと思いました。

基本目標 1 生きる力を育む学校教育の充実。環境の整備の部分についてですが、同じ言葉が何回か入っているのでその部分について教えて下さい。

三浦町長 「環境の整備」「環境の充実」のところですね。子ども達が

毎日楽しく安全に学校に行ければということだとも思います。もう少し集約・検討したらいいのかなあ。とも、思います。こちらは、また後ほどにしましょう。

堀田委員長

大変良く修正されていると思いました。基本目標4 青少年の健全育成 情報と絡めながらこれからは、児童を育てていけないといけない部分だとも思います。学校生活支援を必要な児童も増えています。施設設備の修繕や芸術・文化の振興、伝統芸能の祭典などや国際交流の推進なども書かれておりますのでとても良いと思います。外国語講座の拡充についても具体的に書かれても良いのかと思います。

嶋田委員

基本目標1 に関しての話ですが、人口減少ということもあります。地域が衰退していくこと。そして、人口が衰退していけば、経済が縮小していき、どんなことにでも克服していかないといけないと思います。ふるさと教育の推進という話もありますが、地域の先人の学び、地域にもっともっと興味や感心を持ち、ゆくゆくは、地域を背負って立って頂きたいと思います。この町も寂しくなってきたので、「地域の町づくり」「魅力づくり」をどうやっていくとか。将来、この町の人材を育てていけるのかなど思います。

三浦町長

この町から出て、初めてこの町の良さが分かると思います。そのためにも「ふるさと教育」をしっかりと行い、もっと良くしていかなければいけないと思います。町企画政策課では「三種町まち・ひと・しごと創世総合戦略」の意識調査を中学校3年生に行いました。「この町に住みたいと思いますか」という調査結果では、山本中学生53%、八竜中学生9%、琴丘中学生10%でした。山本地区では、伝統芸能が盛んな所があります。ふるさと教育の一環として、将来この町に帰ってきてほしいと思うのは本音なのですが、なかなか難しいことでもあります。

堀田委員長

八竜地区は、ほとんど伝統芸能行事がありません。

三浦町長

八竜地区のサンドクラフトを始めたのは、将来砂遊びがなくなるという思いや、「能代ねぶ流し・七夕」などは、小さい頃から笛の練習をしたりしているので、その地域に愛着を持っ

てほしいという願いを持っていると思います。ここで愛着を持っていただければと思います。

嶋田委員

教育長が先ほどお話しをした「子育ての情報モラル」についてですが、子ども達の生活指導は、学校でも家庭でも是非、徹底してほしいと思います。

鎌田教育長

学校ではもちろんのことですが、「電話を持つな」ということではありません。安全・安心して使えるように家族の話し合いが必要です。山本地域は、小学生の保持率が高いです。その他フィルタリングの徹底などです。

堀田委員長

何年も前からお話しはしていることですが、なかなか守れていないようです。携帯電話の正しい使い方は、繰り返し、繰り返し指導していかないといけないと思います。

三浦町長

基本目標 7 国際理解の促進と国際交流の促進についてですが、小学校の教科になるのが平成 32 年度からですね。小さい頃から喋ることを主体にしています。大学教育は、実業学校に行っても大学試験をまた受けてもいいという羨ましい制度もあります。

この大綱案につきまして、この案で良いのかと思います。中身を尊重したいと思います。三種町のめざす教育は、「創造性豊かな文化づくり」「新たな時代を切り拓くきらめく人づくり」をめざし教育施策を推進して行きたいと思っております。

鎌田教育長

学校支援事業は、町内学校の取り組み方も大変良くわかります。どうかよろしく願いいたします。

堀田委員長

財政面でも支援して頂きありがとうございます。

鎌田教育長

町バスを使って学校行事等は活用して頂きたいと思います。

堀田委員長

今の町バスの利用は、「羨ましいなあ」と思っております。

鎌田教育長

町バスの利用については、他町村にはありません。山本地域の三校は、学校の交流を良く行っています。

先日、三種町児童の体力は素晴らしいという報告が届きました。

三浦町長

小規模校の児童は、「社会性がない」と言いますがどんなことなのでしょう。

鎌田教育長

社会性とはどんなことですかね。

三浦町長 一学級一新聞は、どうですか。町内三中学校の中学生が実施しているテーブルマナーの実施は、大変有りがたいことですね。

鎌田教育長 一学級一新聞は、大変よく活用されております。中学生のテーブルマナー提供者の近藤久規さんは、大変楽しみにしています。

三浦町長 地域の方々の支援は、大変有りがたいと思います。色々な良いお話が出来ました。これで、三種町総合教育会議を閉じます。本日は、ありがとうございました。

以上をもちまして、本日の会を閉じたいと思います。

午後4時02分 閉会

会議のてん末・概要に相違ない事を証明するためにここに署名する。

三種町長

署名委員